

2021年度

(2020年4月1日～2021年3月31日)

事業報告書

2021年5月10日

学校法人神戸学園

神戸動植物環境専門学校

1. 学校の概要

(1) 教育理念

神戸動植物環境専門学校は動物の動物を扱うプロフェッショナルを育てる学校です。私たちは、確かな知識・技術を持った若者を世に輩出することで、動物も人間も、両方が幸せになれるような環境を増やすことで、社会に貢献できると確信しております。動物、ひいては地球環境がこれ以上悪くならないように、豊かな人間生活が送れるように、生き物たちと人を繋ぐ架け橋を目指す人材を育てます。

(2) 沿革

学校設置認可年月日 神戸動植物環境専門学校 昭和 63 年 10 月 5 日

昭和 63 年 神戸パストゥール・バイオ専門学校工業専門課程として認可を受ける

平成元年 財団法人ルイ・パストゥール医学研究センターの唯一の提携教育機

関として「神戸パストゥール・バイオ専門学校」開校。以後、多くのバイオテクニシャンを輩出。

平成 14 年 専門学校「アートカレッジ神戸」が学校法人神戸学園に設置者変更し、姉妹校となる。

平成 15 年 校名を「パストゥール・バイオ専門学校」から「神戸動植物環境専門学校」に変更。生命科学学科を設置。兵庫県下でははじめての動物系の認可を受けた専門学校となる。

平成 19 年 高等課程設置認可アニマルサイエンス学科（3 年制）を設置

平成 25 年 兵庫県内で最大の動物系専門学校となる

平成 26 年 理事長 蔣 惠萍 就任

平成 27 年 学校法人神戸学園創設 50 周年オープニングセレモニー開催

平成 28 年 学校法人神戸学園創設 50 周年エンディングセレモニー開催

(3) 関連学校

専門学校アートカレッジ神戸

兵庫県神戸市東灘区向洋町中 1-15

(4) 学生数

アニマルサイエンス学科

学科名	定員	収容定員	1 年次	2 年次	合計
生命科学科	300	600	274	184	394
バイオ学科	40	80	0	0	0
研究科	20	20	0	0	0

(5) 教職員数

教員数(本務)	教員数(兼務)	教員合計	職員数(本務)	職員合計
21	35	56	11	67

(6) 役員・評議員概要

職名	氏名	任期	備考
理事長	蔣 惠萍	令和 2 年 11 月～令和 4 年 10 月	
理事	菊地 和朗	令和 2 年 11 月～令和 4 年 10 月	
理事	小林 司朗	令和 2 年 11 月～令和 4 年 10 月	
理事	安藤 美佐	令和 2 年 11 月～令和 4 年 10 月	外部理事
理事	中野 美和子	令和 2 年 11 月～令和 4 年 10 月	

理事	勝又 蒼樹	令和2年11月～令和4年10月	
理事	川崎 秀幸	令和3年4月～令和4年10月	
理事	柴垣 楓	令和2年11月～令和4年10月	外部理事
監事	田部井大介	令和2年11月～令和4年10月	
監事	斎藤 裕貴	令和3年4月～令和4年10月	

2. 事業の概要

(1) 事業概要

1 学生募集活動

兵庫県内の高等学校への訪問を強化し、2020年4月から2021年3月にかけて各月進路担当者及び学校長に訪問し、本学の学校説明や教育方針・就職活動等を伝えると共に、入試制度やオープンカレッジ等のイベントの案内を行った。

2020年3月から2021年3月にかけて新型コロナウイルス感染拡大の為、イベントが中止になる期間がありつつも、コロナ対策の徹底による少人数制の来校型オープンカレッジとオンラインツールを利用した進路相談会を実施した。さらに、兵庫県内を中心としてコロナが一時的に終息した夏以降、ガイダンス業者主催の校内ガイダンスや会場ガイダンスに参加した。

各種媒体による広報は、パンフレット、募集要項、ホームページ、各種ポスター、SNS・YouTube等、不特定多数に情報発信している。本学の魅力や実績を伝えられる広報物を、入学対象の生徒に見てもらい、本学を選ぶ手段の一つとなるよう製作し、紙媒体の広報物は資料請求者および高等学校関係機関に配布した。

上記の施策の結果、昨年度の入学者数よりも大幅に増加したため（昨年度：197名、今年度：274名）、昨年度中に定員数を300名に変更した。コロナ渦だった状況を勘案すると、これは本学の広報活動が順調であり、受験者やその保護者からも信頼していただける運営ができていることを示している。

2 教育活動

i 授業計画書作成方針

【作成方法】

各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。

シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。

【作成・公開時期】

翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の事業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。

ii 成績評価の方針

【概要】

学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験（筆記試験、実技試験、レポート）により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験（80%）と出席状況（20%）を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA：100-90点、B：89-80点、C：79-70点、D：69-60点、E：59点以下とし、「D」以上を合格とする。

Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。

なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試

験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。
上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。

iii卒業認定の方針

【概要】

神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。

- 1.専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。
- 2.自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。
- 3.論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。

本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。

(2) 施設関係

校舎地下1階部に令和元年8月に学生実習施設 神戸学園水族館「アクアテキスト」を開設

校舎4階に令和2年6月に学生実習施設 トリミングサロン「LIEN」を開設

令和2年1月から3月大規模修繕外壁工事を実施。3月31日完了。

令和2年6月から学生・生徒個々に学校所有のタブレット PC を無料で貸し出しによる、遠隔教育実施。

(3) 施設等の状況

設置学校の校舎所在地

兵庫県神戸市東灘区向洋町中1番16号

概要 神戸動植物環境専門学校校舎 面積

種別	面積 (㎡)			備考
	専用	共用	計	
校舎敷地	1749.89		1749.89	
計	1749.89		1749.89	

イ 校舎

部 屋	延床面積 (㎡)			備考
	専 用	共 用	計	
普通教室	791.54		791.54	
実習室	1736.62		1736.62	
事務室	212.52		212.52	
職員室	314.37		314.37	
保健室	12.5		12.5	
便 所	250.49		250.49	
その他	3609.77		3609.77	
計	6927.81		6927.81	

(4) 組織体制

ペットの普及と増加に伴い、ペットの専門的な知識と技術は社会にとって必要とされる人材となっています。また今後動、物看護師の国家資格化を見据えて社会に必要とされる人材の育成を行える教育人材を適材適所に配置し、併せて教職員研修や指導体制を整えて組織力による社会への貢献に努めていきます。

(5) 事業計画及び進捗状況

1 教育研究の取り組み

優秀な職業人を育成させるため、団体・企業との連携を保ち、校舎施設での実習型授業はもとよりタブレットを導入し遠隔教育の充実を図っていきます。企業、病院、動物園、水族館などとの関係を強化しインターンシップを定着させ即戦力人材の育成を図っています。

校舎内実習授業においては、神戸学園水族館アクアテキストを設置し水族館職員を目指す学生に、展示や飼育の実践教育を行い、トリミングサロン「LIEN」を設置してトリミング最新機材を使用した実習を行っています。

2 教職員の質向上

教職員に対しては、組織人としての自覚を持ち、動物業界の発展に寄与し社会への貢献する人材の育成を目指す優秀な経済人を育てるための各階層に基づく研修を行っています。

3. 財務の概要

(1) 令和2年度決算概要

1 貸借対照表の状況

令和2年度決算においては、総資産額は前年度より363百万円増加、純資産額は前年より179百万円増加している。

2 収支計算書の状況

令和2年度決算においては、経常収支差額が179百万円となった。神戸動植物環境専門学校の学生募集状況が改善されたことで、学生生徒納付金収入が伸びたことが要因となる。